

東通村と都市部との交流事業 ～東京都北区立浮間中学校職場体験～

7月8日(火)～10日(木)の間、東京都北区立浮間中学校2年生の生徒6名(男子2名、女子4名)が、東通村で職場体験を行いました。

この職場体験の受け入れは、東通★東風塾(塾長 山崎孝悦)が中心となり、今年で11年目を迎えた東通村と都市部との交流事業がますます発展し、東通村と北区との絆がより深まることを願って企画されたものです。

浮間中学校にはこの職場体験を通じ、キャリア教育の一環として、都会ではできない第一次産業を体験することで、生徒達に将来就く職業の選択枝を広げてもらいたいという方針があります。そして、東通中学校との交流や生徒の家庭へのホームステイにより、考える力やコミュニケーション能力を伸ばし、ホームステイ先の家庭とふれあう素晴らしさを体験してもらおう狙いもありました。

また、東通村にとっても、東通中学校の生徒が都会の中学生と接することで、社会に対する視野を広げる機会を提供するとともに、東通村のファンをもっと増やしたいという想いがあり、東通村と東通★東風塾で職場体験を受け入れることになりました。



入村式で挨拶する越善村長



東通中学校での学習

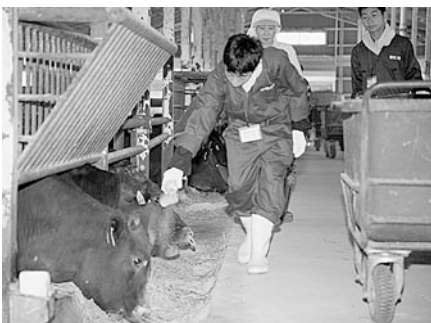


初日は、庁舎で入村式が行われ、越善村長から歓迎の挨拶があり、奥島教育長からは職場体験で使用する作業服や長靴などが贈呈されました。

その後、東通中学校で、同校の1・2年生と一緒に「地域産業の可能性を探る～東通から世界へ～」(講師：東通村観光協会長 氣仙修)をテーマとした東通科の授業を受け、生徒達は皆熱心に講義に聞き入っていました。

2日目は、村田農園(女子)と東通村産業振興公社(男子)に分かれ、農園の苺の収穫やパック詰め作業、公社の東通牛の餌やりや牛舎の掃除などを体験した生徒達は、「苺をそっと摘み取るのが難しかった」「牛の餌やりや牛舎の掃除にとっても体力を使った」と、初めての経験に汗を流していました。

3日目は、東通中学校2年生の生徒達に見送られた後、べこもち作りを体験し、東通村での貴重な多くの経験を積んで、一回り成長した姿で帰路に就きました。



東通牛の餌やり体験



苺の収穫体験



苺のパック詰め体験